

井戸端だより

第 78 号

発行日： 2012.6.25

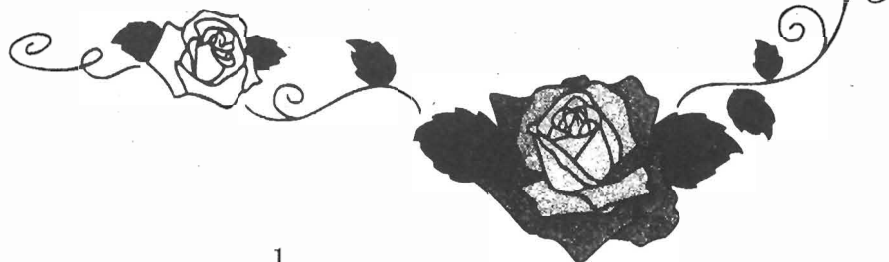
発行： ぐらしの学習会

6月の台風は珍しいですが、今年は次から次へと日本を襲ってくるようです。台風・大雨・土砂崩れだけではありません。世界に目を向ければ、ユーロ圏のごたごたは収まるどころを知らず、円高不況の波も依然襲ったままです。原発再稼働をめぐる問題、税と社会保障の一体改革の行方、沖縄基地問題など、日本国内の状況も混迷を極めていきます。日本はどこに向かっていくのでしょうか…。ただ言えることは、人の命が最も尊重される国であってほしいということです。

第 78 号会報をお送りします。読んで何かを感じていただければ幸いです。

目 次

- | | |
|------------------------|--------------|
| ・ 4月例会報告 |P.2 |
| ・ 介護保険料出前講座 |P.3～5 |
| ・ 『出前講座 介護保険について』に参加して |P.6～8 |
| ・ 出前講座を受けて |P.9 |
| ・ 6月例会報告 |P.10 |
| ・ 市議会を傍聴しました |P.11 |
| ・ ファースト タイム |P.12 |
| ・ ジャコウアゲハ 2012-① |P.13 |
| ・ 愛媛新聞切り抜き |P.14～15 |
| ・ ムカデに刺されたら・・・ |P.16～18 |
| ・ 見えないものが見える |P.19 |
| ・ 雑感 |P.20～23 |
| ・ お知らせ・編集後記 |P.24 |



4月例会報告

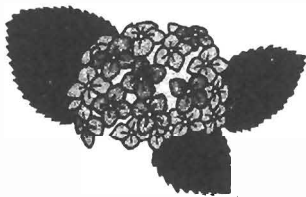
4月10日火曜日午前10時～林宅で4月例会を行いました。

新聞で全国の市町村の介護保険料が発表されたのを受けて、なぜ東温市の介護保険料が全国平均よりかなり高く、愛媛県の中でも2番目に高いのかということが話題にのぼりました。その理由が巷で噂されてもいるが、それが本当かどうか、本当の理由を市役所の担当から直接聞きたいという希望が出ていました。4月例会では、具体的に話が進み、市に介護保険についての出前講座を申し込むことになりました。

申し込んだ結果、5月29日にお願いできることになり、4月16日付で正式にどうおん出前講座受講承認決定通知書が届きました。会場は市役所4階405会議室、時間は午後1時から3時まで、保険年金課の渡部光長課長補佐が講師として話してくださることになりました。

事前に会員に質問事項をそれぞれ出してもらい、それを羅列した質問状を5月7日、渡部課長補佐までお届けにあがりました。

また、くらしの学習会だけでお話しをうかがうのはもったいないということで、婦人会、きり東温にネットワークで情報を回しました。その結果、一部その所属の方にも参加していただけることになりました。



介護保険出前講座

6月2日の愛媛新聞に「健康寿命」の記事が出ていた。介護を受けたり病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活出来る期間を言い、男70.42歳、女73.62歳、愛媛県は男69.63歳、女73.89歳。単に寿命を延ばすのではなく、生活の質を重視する考え方に基づき世界保健機構が2000年に提唱したという。

私は、後3年でこの年齢に達するという事は、健康保険はもとより介護保険のお世話になる時期が近づいているということでもある。今の体力・気力を少しでも長く維持したい思いである。

5月29日、介護保険の出前講座をうけた。事前に会員が質問状を提出した。渡部保険年金課課長補佐、林介護徴収係長、矢野介護給付係長の3人から26項目の質問に誠実な回答をいただいた。

介護保険制度のしくみ

世帯の細分化、独居や高齢者のみの世帯の増加、介護の長期化など家族だけでは介護することが困難な状況の中、寝たきりや認知症などで介護が必要となった人が安心して介護サービスを受けられるように、社会全体で支え合っていくことを目的に、平成12年4月1日にスタートした制度。

- ・3年ごとに見直し、現在5期目（平成24年度から26年度まで）
- ・市町村が運営し、40歳以上が加入する。

加入者（被保険者）は65歳以上（第1号被保険者）と
40歳～64歳（第2号被保険者）に分かれる。

介護保険料（65歳以上）

	東温市	砥部町	松山市	新居浜市
1期 平成12～14	3,142円			
2期 平成15～17	4,125円			
3期 平成18～20	5,208円			
4期 平成21～23	5,208円	4,883円	5,100円	5,012円
5期 平成24～26	6,195円	5,583円	5,770円	6,247円
東温市の保険料の基準額	74,300円/年（第5期目）			

基準額の算出方法

介護サービスの総費用×65歳以上の負担分（21）%÷65歳以上の人数
基準額を中心に所得に応じた負担になるように、6段階に分かれている

★東温市の介護保険料が、愛媛県下で2番目に高い理由は

・65歳以上の高齢化率が高く増加傾向にある

高齢化率24.6%＝総人口34,321人／65歳以上8,432人(平成24.4.1現在)

・75歳以上の後期高齢者率が高い

東温市55.0% 愛媛県53.9% 全国49.2%

・介護施設が多い

東温市内病院・診療所 39箇所 介護施設 61箇所＋建設中1箇所

・要介護度4・5が多い(申請時の介護度が高い)

・認定率が高い 東温市22.3% 愛媛県20.5% 全国17.5%

★65歳以上の人を支払う介護保険料の納め方

納め方 特別徴収(年金から天引き) 普通徴収(納付書で各自納付)

徴収額 22年度 4億7,900万円 人数8,288名

未徴収者人数と金額 普通徴収22年度末500万円 138名

★保険料負担割合(平成24年度～)

公費(税金) 国25% 都道府県12.5% 市町村12.5%

65歳以上の保険料 21%(東温市24年度推定人数 8,620人)

40～64歳の保険料 29%(" 11,656人)

★東温市介護保険24年度予算額 33億5681万4,000円

介護サービスの利用

1. 申請する

2. 訪問調査+主治医の意見書

3. 審査・判定 介護認定審査会(保険3名・医療20名・福祉7名の専門家)

毎月3回 年90回

4. 認定・通知 申請から30日以内に届く

5. 介護サービス計画の作成

ケアマネジャー(介護支援専門員) 18名

6. 介護サービスを利用

*在宅サービスを利用したときは利用料の1割を支払う

*自己負担が重くなったときや、所得の低い方には負担を軽減するしくみもある。

*保険料の6～7割は人件費

要介護度	利用限度額 1カ月	認定者数 平成 23.4.1～24.3.30	新規登録者 24年度分として
要支援 1	49,000 円	187 名	61 名
要支援 2	104,000 円	362 名	95 名
要介護 1	165,800 円	304 名	91 名
要介護 2	194,800 円	320 名	48 名
要介護 3	267,500 円	230 名	40 名
要介護 4	306,000 円	221 名	33 名
要介護 5	358,300 円	239 名	34 名
合 計		1,863 名	402 名

介護保険で利用出来るサービス

1. 介護サービス（要介護 1～5）

- 居宅サービス ・ 訪問看護 ・ デイサービス ・ デイケア
 ・ ショートステイ ・ 医療型ショートステイ等
 施設サービス ・ 介護老人施設 ・ 介護老人保健施設
 ・ 介護療養型医療施設

2. 介護予防サービス（要支援 1・2）

- 自宅に訪問してもらう（調理・掃除・移動入浴車の利用）
 施設に通う（運動器機能向上 栄養改善 口腔機能の向上等）

3. 地域密着型サービス

利用者は市民に限定される

4. 福祉用具貸与・購入・住宅改修サービス（費用の 1 割自己負担）

～生活環境を整えるサービス～

以上、十分理解出来ていない面が多分にあると思います。この点は他の人の報告文でカバーしていただけたら幸いです。

今回の出前講座は、介護保険を勉強し、地域や自分をも見直すいい機会になりました。介護保険の必要性、この制度の複雑さ、個々の対応の難しさ、担当者のご苦勞もよくわかりました。

高齢化率の増は時の流れ、介護施設の多いのは選択肢が広がるという利点もあるが人口に対して多すぎるのではないかと思ひ、また、東温市の介護度認定率は全国平均を大きく上回っている点が大変気になるところです。

(S・K)

『出前講座 介護保険について』に参加して

5月29日(火) 13:00 ~ 東温市役所 405会議室に於て『出前講座 介護保険について』を依頼、11名参加(くらしの学習会会員8名・声かけによる住民3名)での勉強会となりました。前もって提出してあった質問(26項目)について東温市職員3名(渡部さん・林さん・矢野さん)から分かりやすく丁寧な説明を受けました。

なぜ、この講座を依頼することになったのか。市町が3年ごとに改定する65歳以上(第1号被保険者)の介護保険料が、第5期(2012~14年度)は県内19市町で引き上げられ、特に東温市は、第4期県内で一番高い保険料(基準月額 5,208円)にも関わらず第5期も 987円引き上げられる事になり、その事を知った会員のお一人が東温市役所で聞いてきた話(『井戸端便り77号P4』)を聞き、知らない事ばかりで実態を皆で共有する為『出前講座』での勉強会となりました。

どうして、東温市の介護保険料が高いのか? 2012年度は、1800人(居宅介護1108人)で33億円を利用する事が試算されている。

(1) 高齢者人口(65歳以上)の増加、5期・6期には1万人を越える可能性がある。2012.4月現在 8,432人(人口比24.6%) 現在18.8%の人が介護を利用している。しかしながら、新聞記事による県内市町の高齢化率と圏内市町の介護保険料を比べてみると、

高齢化率1位	久万高原町	43.34%	の介護保険料	5200円	15.6%増
”	2位	伊方町	38.56%	”	3400円 -
”	3位	上島町	38.35%	”	3198円 7.5%増
”	4位	松野町	37.65%	”	5254円 28.0%増
”	5位	鬼北町	37.40%	”	5588円 36.0%増
”	19位	東温市	24.7%	”	6195円 19.0%増

となっていて、上位5町の75歳以上の人口割合は28.74%~21.17%で県の平均14.39%を大きく上回っているが、東温市は約13~14%と意外に低い。

東温市の介護保険のサービスを利用している人数

要介護度	利用限度額 (1カ月)	自己負担 (1割)	2011年度 利用人数	2012年度 新規登録人数
要支援1	4万9700円	4970円	187人	61人
2	10万4000円	1万400円	362人	95人
要介護1	16万5800円	1万6580円	304人	91人
2	19万4800円	1万9480円	320人	48人
3	26万7500円	2万6750円	230人	40人
4	30万6000円	3万600円	221人	33人
5	35万8300円	3万5830円	239人	34人
合計			1863人	402人

*利用人数(2011年度)の要支援1、2と要介護1、2の利用者は利用限度額をほぼ100%使っている。

(2) 東温市には愛媛大学医学部附属病院・愛媛十全医療学院附属病院・独立行政法人国立病院機構愛媛病院・東温市と隣接した場所には国立がんセンターなど大病院があり、個人病院や診療所も36か所ある(2012年4月1日現在)

(3) これらの病院をサポートする介護施設事業者が61あります(因みに人口約3万人の砥部町には約20か所の介護施設しかないそうです)

*重信郵便局の隣には徳島県の介護事業者による介護付き有料老人ホームが現在建設中です。

*今期最高介護保険料となった新居浜市は、入所施設の待機者解消のために特別養護老人ホームやグループホームなど8施設を整備中で4期以上に介護利用量の増加が想定されるとして引上げとなった様です。

*介護施設に支払われた保険料の内、人件費が60~70%

*自己負担が高額になった場合や介護保険と医療保険の支払いが高額になった場合には、所得区分によって額は変わりますが限度額を越えた分が払い戻されます(給付を受けるには市区町村への申請が必要)

これらの事を踏まえて、東温市住民の医療や介護は利便性があり豊富に利用できる立地状況にある事が分かります。が、今の状態を続けていく事に疑問を持った人もいないのではないのでしょうか。そのためには、介護保険のお世話にならない老後を過ごせる様に今から準備をする必要があります。

東温市の介護を受けなければならなくなった人の病気は、女性は40～64歳も65歳以上共『認知症』『アルツハイマー』男性は『動脈硬化による病気』が多いそうです。健康診断を受ける・健康食を心掛ける・適度な運動を行う等生活習慣の見直し、それに加え、新たな事にチャレンジするのもアンチエイジングにつながり健康な日々を送る上で大切だそうです。

先日参加した料理教室での講師の方が『元気な年の取り方』の話の内容は、①元気な時から気をつける。②『腹八分』を心掛ける。③体に良い食品を毎日食べる。具体例として、ご存じの方も多いと思いますが『まごはやさしい+良質の肉』を毎日食べ続けると良いとの事でした。

『ま』豆類（豆腐も含む）・『ご』ごま・『は』わかめ（海草類）
『や』野菜・『さ』魚・『し』椎茸（きのこ）・『い』いも類

自立し元気に生活できる期間を「健康寿命」として厚労省が男 70.42歳 女 73.62歳 初算出したとの新聞記事を目にし、病気やケガをせず元気に過ごせる期間を長く過ごすことは誰もが望んでいるはずです。私にはまだ十年余りの時間がある様なのでその時間を延ばす事ができるような日々を送りたいと思っています。

(A. II)



出前講座を受けて

私達のグループで、介護保険が見直される度に、どんどん上がるのは何故だろう。という疑問が出て出前講座を受けることになった。

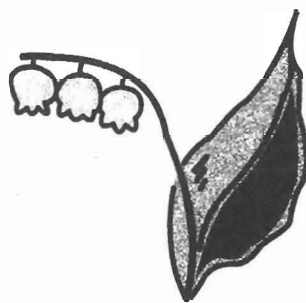
福祉課からデータ等を元に詳しく説明していただいたので、なる程と納得した。自分が元気なので、「使い過ぎよ」とか「査定が甘いよ」「子供達がもう少し見るべきよ」と勝手に想像していたが、自分もその中の一人になる日が来るのだと理解できた。

その中で一番関心を持ったのが、認知症の説明だった。認知症は原因が糖尿病だということ、女性に多いこと、一人暮らしが原因。この中の二つが自分に当てはまる。私は老人の話し合いボランティアをしているが、認知症の接し方は難しく、年よりの宝という思い出話も出来ない。私は認知症にはなりたくないという思いが強くなり、その為には、自分の体の管理が大切だと分かった。

まず第一に考えたのが、体重を減らすこと。それには運動と食事を栄養学的に考えカロリーオーバーにならないように食事する。今実践していることは、朝食は食パン半分、バターを付けず、(自分で作ったマーマレード)で食べる。牛乳と野菜。昼はパンの残りとお惣菜か、外食の時は、ざるそばかざるうどん。夜は、ご飯は赤ちゃん茶碗に一杯、副食はいろいろ考えて蛋白質を摂るようにする。これを続けて1か月、2Kの減量に成功。

温泉に行く機会が多い私は、これは完全に糖尿病の入り口だと思う方が大勢おられることに気づく。お腹を突き出した方、お乳もお腹もぶらさがっている人、歩きかねる様な腰と足、じっと眺めて、「どこかで気を付ければよかったのに」「私はあそこ迄にならないぞ」などいろいろ頭をよぎるものがあるが、すべて自分の不注意が、介護保険に懸かって来るだろうと思わずにいられない。一人一人の考え方で保険料を下げることも出来るような気がする。

(Sa・K)



6月例会報告

6月12日（火）1:30よりHさん宅に於いて6名参加での6月定例会を行いました。

この日は、5月例会で実施した「介護保険についての出前講座」の報告を持ち寄り、皆で内容の確認をする作業を行いました。ヘルパーをしているメンバーの参加もあり、現場での話を聞く事もできました。「4月の介護報酬改定」により、ヘルパーが高齢者の自宅を訪問して料理や洗濯などをする「生活援助」の利用時間の基準が短縮され「今でも時間が足りないのに、必要な援助ができなくなる。撤回してほしい」と訴える現場の声があるとの新聞記事を見た。ヘルパーをしているメンバーも「時間が足りなくなった場合個人的に時間のサービスをすることもある」と話していた。

この話をした次の日「あなたの街のご用聞き隊」という新聞チラシが入っていた。介護保険適用外のサービスで、買い物代行、生活支援、付き添い、安否確認サービスなど、当然の事ながら有料でのサービスを行うものでした。この次の日「家事代行身近に 専業主婦や高齢者も利用も」の新聞記事でも「介護保険でカバーされる家事援助が縮小されてきており、需要はさらに伸びると予想される」と書かれてあった。「困った時は助け合い」の時代は終り、お金で片付けてしまう時代になりつつあるのでしょうか？

この日、メンバーのお一人が珍しい果実、桑の実を持ってきてくれました。改良種だそうで、ブルーベリーのような濃い紫色で酸味も少なく初夏の珍しい物を味わいました。次の日、出先でも桑の実をゼリーにしたものを頂き、二日続きで旬の物をごちそうになりました。

久万高原町で『由良野の森』を運営している人の話、今年ジャコウアゲハの幼虫が少ない、東温市議会は秋には選挙なので、6月の一般質問を傍聴に行ける人が参加をする、など4時すぎまで話は続けました。

7月の例会について日程だけ決め、遠出を予定し候補地を会報の印刷日に持ち寄ることとしました。

(A. M)

市長選 高須賀氏3選出馬へ



高須賀 功氏

東温市の高須賀功氏(長69)は無所属、同市志津川は19日の6月定例議会で、11月6日の任期満了に伴う次期

市長選に、3選を目指し立候補する意向を表明した伊藤隆志氏(無所属)の一般質問に答えた。

高須賀市長は「今まで、厳しさを増す財政状況で、経緯と知恵、エネや、南海地震など予想外のリスクの全てを注ぎ込まれた大規模災害への対応を挙げた。現時点で他に出馬の意向表明。市民主体の動きはみられないが、

水面下では対抗馬擁立を模索する動きがある。

高須賀氏は愛媛大卒。1985年に県庁に入り、経済労働部長などを歴任。県商工会議所連合会専務などを

併後10年を迎える中で、2004年、旧重信、川内両町の合併で発足した東温市の初代市長に無投票で当選し、08年に無投票再選を果たした。(中略)

市議会を傍聴しました

6/19 市議会を傍聴した。午前中は議会ライブ中継を家のパソコンで、午後からはくらしの学習会の会員3名と一緒に議場で傍聴した。

傍聴席には5台のカメラを持ち込んだマスコミ各社と一般傍聴者で満席。補助椅子を並べる程だった。それは今年10月の任期満了を控え市長が出馬の意向を示すかどうかに関心があったこと、また、女性議員の応援をと言うことらしかった。それぞれ関心のある2人の質問が終わった後は、マスコミ関係者・女性たちが引き揚げていった。女性ひとり、私は後の質問を聞いた。

2日間に亘って13名の議員が(定数18名)通告したものを一問一答で質疑応答をする。同じ内容を何人もが質問し、質問者・理事者ともに原稿を読み上げる単調なやり取りは仕方のないことなのか。そんな中、再質問には真剣さが感じられ、内容が更によくわかり真剣に聞き耳を立てた。

一般質問の2日目の6/20も家のパソコンで議会で中継を聞いた。ボリュームを上げて家事をしながら聞けるので便利。今回は女性議員3名の発言を聞いた。市民の半分は女性、常にアンテナを張って更に頑張りたい。

個々の内容の一部については愛媛新聞の記事を掲載することにしました。詳しい内容は後日東温市議会のホームページに掲載されます。3月議会のホームページはとても充実していました。

各議員も是非各自活動状況等ホームページ・ブログで紹介し、議員と市民の繋がりを充実してもらいたいものです。(S・K)

市議会

伊方再稼働に慎重姿勢示す
市長 伊方原発について「万全な安全対策がでないなら再稼働すべきではない」と慎重姿勢を示した。

△東温市(19日) 重慶市を示した。佐伯正夫、伊藤隆志、酒井進、平岡明雄、大西勉(以上無所属)の6氏が一般質問した。初回は男性8人、女性7人が参加した。カッパル誕生は私的なことで把握していないが、今後も出会う場を提供していきたい」と述べた。

△東温市(20日) 近藤千枝美(公明)相原真知子、酒井進、酒井進、平岡明雄、大西勉(以上無所属)の6氏が一般質問した。初回は男性8人、女性7人が参加した。カッパル誕生は私的なことで把握していないが、今後も出会う場を提供していきたい」と述べた。

△東温市(20日) 近藤千枝美(公明)相原真知子、酒井進、酒井進、平岡明雄、大西勉(以上無所属)の6氏が一般質問した。初回は男性8人、女性7人が参加した。カッパル誕生は私的なことで把握していないが、今後も出会う場を提供していきたい」と述べた。

坊っちゃん劇場 長崎でPRへ

坊っちゃん劇場長崎でPRへ
市長 坊っちゃん劇場のPRを兼ね、長崎県に足を伸ばす。玉乃井氏は市内の不法投棄ごみの現状をたどった。高須賀市長は、ごみの処理費用は2008年の394万円が11年に232万円と年々減少と説明。市への通報は11年で24件あり、「先進自治体を参

考(不法投棄を防ぐ)条例制定に向け廃棄物検討委員会で検討したい」と答えた。

北朝鮮による拉致被害者救出への署名者と運動に応える行動を強く求める意見書を委員会に追加付託した。

玉乃井氏は市内の不法投棄ごみの現状をたどった。高須賀市長は、ごみの処理費用は2008年の394万円が11年に232万円と年々減少と説明。市への通報は11年で24件あり、「先進自治体を参

ファースト タイム

人生 70 年歩んでいると、いろいろな出会いがありその度に、喜んだり悲しんだり幸せな思いや嫌な思いをくり返した人生だった。

今回のファーストタイムは、くらしの学習会の方々が、自然や環境、政治や行政にも関心があり、教えられた事から市議会を傍聴しようという事になった。

議会の傍聴は初めてである。東温市役所の五階にある議場に入ると、議員と行政が向かい合って整然と席に着き、こちら迄もが緊張した。傍聴者は女性が多かったが、準備された座席ではならず、25 人位は傍聴されていた。又メディアの方も多く、議会の重さを感じた。

昼からの大西氏の質問から傍聴した。「脱原発や環境問題、デジタル放送の難地域の現状」などを質問された。その中で私が特に関心を持ったのは、節電についてだった。東温市で使用した電量がわかる（オンデマンド？）を取入れているのは、重信中学、川内中学、南吉井北吉井小学校だそう。節電に効果があると行政側は答えていたが、一つの学校、施設でどれだけの節電になったかのデータは分からなかった。相当な節電になっているのなら、市から病院や一般家庭にも普及できたら、全市民に節電意識が生まれ、東温市から大きな声で脱原発を叫ぶことが出来るのではなかろうか。

次は伊藤氏質問で、通学路の安全についてと市民大運動会についてだった。市民大運動会については、選手を組む事が大変で市民に行政が期待している効果があるのだろうかということだった。行政はお互いに協力することで、地域の活性や伝統を継承していくのに効果ありという事だった。因みにこの運動会に使われる費用は 500 万以上となるそう。

私は一回も参加していないので、何も言えないが、やりっぱなしでなく、反省と改善を繰返し、市民全体が意欲を持って参加出来る様な方法に取り組んで欲しいと思った。

次回も傍聴したい思いがした。

(Sa・K)

ジャコウアゲハ 2012-①

観測用にと冬眠中のジャコウアゲハの蛹を室内に入れていた。3/25・4/4と相次いで羽化した。

戸外で冬を過ごした蛹が羽化し飛び出したのは4/20から。4/21には家の外壁にくっついているのが次々と羽化していった。背中の中を割ってすっと出てきてから2時間程は羽を乾かすためにじっととどまっている。この日を境に次々と羽化し、蜜を求めて舞いはじめた。ご近所の皆さんも「今年も飛び出したね、人なつっこくて可愛いね〜〜〜」と笑顔満開。

4/27には卵を産みつけている。少ししか伸びていないウマノスズクサをちゃんと見つけて産卵している。4〜5日すると孵化しウマノスズクサかじっている。この分だと食草が足りないと心配していた。

5/13 地域の春の道作りの清掃の日、ジャコウアゲハが子供たちの回りにも寄って来た。ワイワイ騒いでいる子供たちに「蝶に興味ある」と声をかけた。ウマノスズクサの葉っぱの裏に産み付けている卵や2mmほどの幼虫を観て貰いながら、「これが1カ月程経つとこんなに飛び出すのよ」と。「なんていう名前か」と聞く子に「ジャコウアゲハ」というと「ああ！ジャコテンアゲハ！？」としばらくジャコテンアゲハのコール。やがて虫取り網を持ってきて追っかける子も。苦笑いしながら見ていた。

その様子を見ていた近所の奥さんが声をかけてくれた。「川内の畑にこれと同じ葉っぱがあるよ。黒い蝶も飛んでいる」と。翌日、卵と幼虫の着いた葉っぱを持ってきてくれた。まさしくウマノスズクサ！！数日後川内のその場所につれて行ってもらった。則之内の団地の一角、90坪の畑のあちこちにウマノスズ草が生えている。裏返して見ると卵と幼虫がいっぱいいる。

その頃我が家の近くでは、孵化した幼虫は5mm位に成長するまでに蜂に食べられてしまっていた。こんなことは初めてで、このままでは、全滅してしまうのではと心配していたが川内にもいることが分かり安堵した。その川内から数匹貰って来た幼虫もまたいつの間にかいなくなってしまった。特にジャコウアゲハの成長過程を楽しんでいるOさんは何とか幼虫を守ってやろうと、蜂撃退のために台所の水切り網を被せていた。

6/20 現在、我が家とOさん所にはそれぞれ蛹1個と4cm程に育った幼虫が2個ずついる。無事に育ててほしい。台風明けの6/22、太陽が照り始めるとジャコウアゲハとツマグロヒョウモンが飛んできた！！！！ (S・K)

自然親しむ入り口に

松山の私設博物館・楠さん

松山市新石手の私設博物館・南日本自然史博物館で、12月から5年ぶりの企画展が開かれる。館長の楠嘉博さん(55)が採集・収集した2千点以上の昆虫標本や、父で前館長の博幸さん(89)と真内で集めた化石を公開する。嘉博さんは「昆虫標本は全て初公開。展示内容を一新したところを見てほしい」と話している。27日まで。

昆虫標本2000点初公開

近は子どもが自然に触れる機会が減っている。旺盛な好奇心で昆虫を見つめ、生物多様性や進化について考える入り口になれば」と期待している。

化石は、古生代から新生代の約200点を展示。サメの歯やウニ、サンゴなどの

（正岡万弥）

きょうから5年ぶり企画展

のほか、今治市で地引き網にかかったナウマンゾウの牙を復元図パネルと併せて紹介する。

時間は午前10時～午後5時。入館料大人500円、小中高生300円。28日以降の観覧は予約が必要。問い合わせは嘉博さんへ携帯電話090-(56885)6

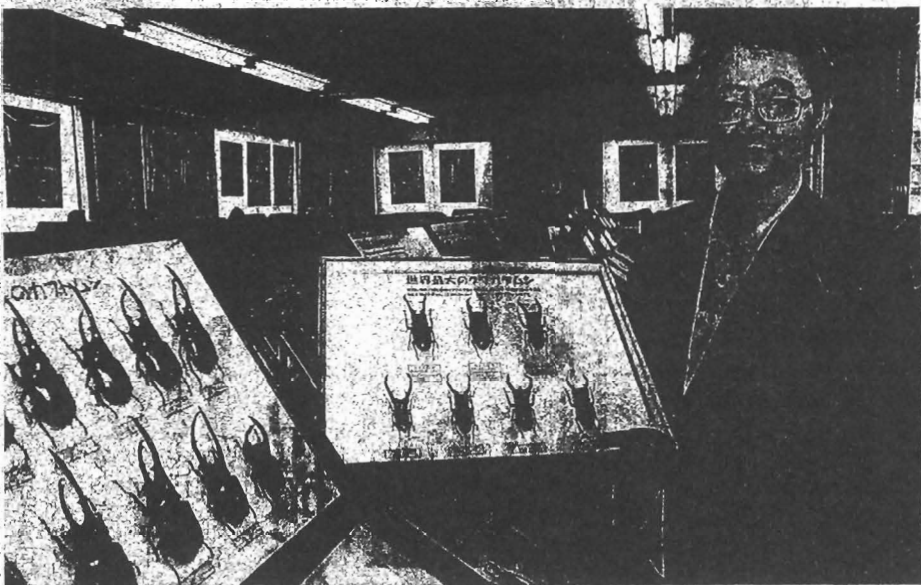
同館は、県立博物館の職員だった博幸さんが退職後、1998年に開館。昆虫や化石など計約32万点の標本を入れ替えながら展示していたが、体力的な問題で2007年を最後に企画展は途絶えていた。常設展は続ける予定だったが、博幸さんが来館者の案内をすることが難しくなり、この5年間はほぼ閉館状態だったという。

幼いころから父と近くの山に昆虫採集に出掛けたという嘉博さんは「せつかくの博物館。活用して多

くの人の見てもらおう」と再開を計画。約1年かけて企画展を準備した。

展示する昆虫は嘉博さんが46年間かけて国内外で採集・収集した膨大な標本の中から、子どもに人気の高い虫を選んだ。目玉は、世界最大のヘラクレスオオカブトやギラファノコギリクワガタ、全長48センチのナナフシなど。ほかにも「擬態している昆虫」や「世界の美しいタマムシ」などのコーナーを設けた。

今回は「館長としての初仕事」と話す嘉博さん。「最



5年ぶりの企画展で、「子どもたちには旺盛な好奇心で昆虫を見つめてほしい」と話す楠さん

がれき処理リスク解説

東温 市民団体が講演会
2012年6月19日(水) 午後7時



「廃棄物処理に関しては市民が立ち入って検証するべきだ」と訴える関口鉄夫氏

＝18日夜、東温市南方

ら、中間処理による高濃度の放射性廃棄物の発生や、地下水汚染の危険性などを指摘した。

住民らには受け入れ側施設の能力調査や、試験焼却後の継続監視などを要望。「人生の大半を公害裁判に懸ける人が今も多くいる。

国や行政の言うことをうのみにしてはならない」と語った。

(中藤玲)

廃棄物処理施設による環境汚染や健康被害の調査を続け、住民運動や裁判を支援している元滋賀大非常勤講師の関口鉄夫氏の講演会が18日夜、東温市南方の川内公民館であり、東日本大震災で発生した震災がれき(災害廃棄物)を広域処理することのリスクなどを訴えた。

市民団体「ごみを考えるネットワークえひめ」などが主催した。

関口氏は広域処理を「無害であれば助け合いの気持ちは否定しな

ムカデに刺されたら・・・

—おばちゃんのムカデ騒動記—

「痛い！」

夜9時頃、倉庫でみかんの選別作業をしている時、チカッと、足首の少し上に何かに刺されたような痛みが走りました。

すぐにズボンを捲って見てみましたが何もいません。そのまましばらく仕事を続けていると、やっぱり何かごそごそしているような・・・

少し前に小さな蜘蛛を足で踏んだので、「蜘蛛が生き返って仕返ししているのかな」と笑いながら再度ズボンを捲って、よく見るとなんと！10cmくらいのムカデが膝のあたりにいるではありませんか。

「きゃー！大きなムカデ・・・父さん、何とかして！」

「どこぞー」

「ズボンにひつついとんよ、」

「おさえとけ！」

夫が、ムカデを取って、足で踏み殺してくれました。

ここからが間違いだらけの始まり・・・

咬まれたところから毒が入ったと思い、まず、自分の手で絞り出してみても、何も出ず、腫れてもいません。ちゃんと毒を出せという夫の言う通り何度か絞り出してみましたがほんの少し薄い血のような物が出ただけ。夫は「わしがする！」と言って、絞り出すこと！！

「痛い！」

「これぐらい我慢せんと毒は出んぞ・・・ギュー」

「痛い！やめて！」

「・・・ギュー」

これからのバトルは、割愛させていただきます(笑)が、一言だけ。夫は、私を“親のカタキ”とって力をいれたようです。

しばらくすると、太ももから、足の付け根、右わき腹と、順々と痛みが広がってきました。これは??

もしかして、毒がまわってきたのかしら・・・

とにかく痛くて、車の運転はとんでもなく、夫の車で家に帰りましたが、噛まれたところよりも、右足の付け根から右わき腹の方が痛くて、気分も悪くなってきたので病院へ行こうということに。

ムカデに刺されて「痛い」ときは、43℃以上のお湯とシャンプーが効きます。



【【警告】】

必要最小限の注意事項です。

- 1) 先に絶対冷やすな！ ⇒ 激痛が倍増し、悲惨な事に。
- 2) 毒の塊、出しすぎるな！ ⇒ 腫れ、口内腫れ等の原因に。
- 3) 毒の絞り出しすぎるな！ ⇒ 毒を押し込んで余計に腫れます。

【【重要情報】】 患人は本書を読んで下さい。

●ムカデ毒の主成分はタンパク質。熱に弱い。
43℃以上の加温が有効。(湯温温度43℃~46℃)
患部は注入されたのではなく、皮膚表面に付着。

Neo-Tech-Lab.com

《夜、時間外、この太い脚を先生に診せるのか・・・
いやだなあ・・・》

夫が病院の電話番号をさがしている時、
そうだ！インターネットだ！
痛い脚を引きずってパソコンへ。
ムカデ、ムカデ・・・
「あった！」



な、なんと！
今までしてきたことは間違いだらけだったのです。

【警告3】毒の絞り出しをするな！

毒を擦り込んで余計に腫れます

☆ ああ、内出血するくらい絞り出した！

【警告1】絶対冷やすな！

☆ アロエを取りに行ってきた

病院に行っても、解毒剤はないらしい。

とりあえず、熱いシャワーをかけてみよう。
病院は、それでも治らなかつたらで、いいか。
夫がシャワーを出してくれ患部にかけてみました。

「アツッ！」

「43度といってもわからんが・・・」

「赤ちゃんをお風呂に入れるのが40度くらいやけん、それよりちょっと熱い
くらいよ。」

築26年のぼろシャワーは、温度調節がなかなかうまくいかず、微妙に熱くなったりぬるくなったり、でも、何とかかけ続け、ボディソープで洗浄しました。

でも、痛いのは、刺されたところだけではありません。

そこで、湯船に熱いお湯を溜めて、脚や、わき腹を一度に温めたらどうかと話し、
かなり熱い湯に半身浴。

あとからゆっくりネットで調べると、これも間違いでした。温度が下がるのです。

シャワーで、43度～48度のお湯を20分間かけ続けるのがベストでした。

それでも、半身は真っ赤になりましたが痛みがやわらいできて、気分も落ち着いてきました。

もう一度ゆっくりと、ネットで詳しい情報を見ていると、ムカデに刺されて24時間後の、
患部が腫れあがった写真が出ていました。その時点では私の脚は腫れていませんでした

「よかった！よかった！熱シャワーのおかげで、腫れずに済んだ！お父さん、やっぱりネットはすごいね。」

少し痛みは残るものの、一時の激痛は治まり、疲れていつもより早く眠りにつきました。

翌朝、患部は少し腫れていましたが、痛みはあまりなく、仕事も普通にできました。

が、次の日、

患部は直径1.5cmくらいに赤く腫れ、痛痒なくなってきました。

やっぱり警告3の通りでした。2人がかりで絞り出した結果、余計に腫れあがったのでしょうか。

2日後に腫れるなんて、歳をとると、反応も鈍いのでしょうか。

“鈍い”といえば、ずっとおかしいなと思っていたことがあります。

ムカデの毒は皮膚の表面に付くだけでからだにまわることはないらしいのに

『なぜ私はムカデが咬んだ所だけではなく、太ももや足の付け根、わき腹が痛かったのか。』

いろいろ調べてみると、ムカデは下の絵のような習性があるのがわかりました。口の所は咬む、

百足と書くように多くの足で皮膚に傷を付ける、身体全体で皮膚に酵素毒を付ける・・・

もしかしたら、私のズボンの中で、太ももや足の付け根まで動き回っていたのかもしれない。

たしかに、長い間ごそごそしていたような気がする。(普通はごそっ！で気づく?)

“鈍い”私がムカデを自由に遊ばせ、酵素毒をあちこちへ付け

させたのかもしれない。

そして、とどめに足首あたりを咬んだのかな・・・

今回のムカデ騒動の教訓

- ムカデに刺されたら冷やしたりしない。
- 毒を絞り出さない。
- 患部に熱いシャワーを20分間かけ続け洗浄すると痛みが取れる。
- インターネットはすごい！どんどん活用しよう！

今まで、蚊、ハチ、アブ、アリ、毛虫・・・など、色々な

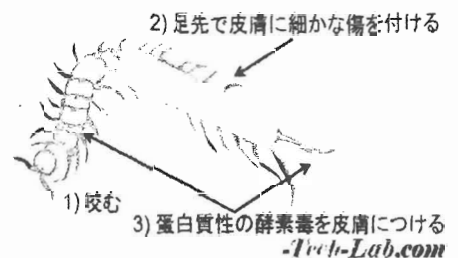
虫に刺されたことがあるが、それぞれの虫によって対処の

仕方が異なるのがわかった。

それにしても、こんなに大きな身体の間人が、あんなに小さな生き物に、大きなダメージを与えられるんだから本当に不思議だ。

脚の腫れ、痒みは、2週間程でほぼ治りました。

(K.Y.)



見えないものが見える

小学3年生の長男は、2歳か3歳頃まで、他の人には見えないものが見えていました。

最初の出来事は当時住んでいた部屋の中でのこと。窓辺にいた長男が突然、怖がりながら私の方へ走ってきたのです。ちょうど人見知りをしていた頃で、知らない人が近づいてくるといつも私のところへ逃げてきていましたから、誰かが入ってきたとすぐに分かりました。けれども、その人は私には見えなかったのです。見えないながらも「バイバイしてね」と長男に言ったら、台所の窓に向かって手を振りました。「やっぱり見えている！」と確信しました。

松山城山では、「あそこに男の人がいるから行かない」と言ったり、「ノコギリが来た！ ノコギリが来た！」と見えない何かを手で振り払ったりしました。

ある時は、スーパーの駐車場で誰もいない方を指さして「あの女の子、誰？」と私に尋ねました。「さあ、知らない子だよ」と言いましたが、長男はしばらくそちらに向かって手を振っていました。

中でも思い出深いのは、友人の飼っていたウサギが来たことです。長男を妊娠する前、私はたびたび友人宅へ遊びに行き、そのウサギと遊んでいました。片手に乗るほど小さな頃からの付き合いでした。長男が生まれた頃には特大サイズになっており力も強かったので、ウサギに負けないくらい育ってから遊びに行こうと待っていたところ、かわいそうなことにウサギは死んでしまいました。しばらくして、何かの用事で友人に電話をしたとき、長男が電話をかわってと言うので受話器を渡したところ、「Tちゃんのことをいつも話して聞かせていたんだよ。会うのを楽しみにしてたんだけど死んじゃったよ」とそのウサギのことが話題になりました。そして、電話を切った直後、長男が何か見えないものを大事そうに抱き上げたのです。ちょうど友人が飼っていたウサギくらいのサイズでした。「ウサギさんを抱っこしているの？」と聞くと、「うん」と言うではありませんか。「ウサギさん、会いに来てくれたんだね」と言うと、「うん」とうれしそうでした。

長男のおかげで私は見えない世界が確かにあると思うようになりました。次男が生まれたとき、また見えない世界の話が聞けるかなと期待しましたが、彼には見えないようです。産まれる前の話も長男は「お腹の中は暗かった」とか「出るときは痛かった」と言っていました。次男は「ママから生まれてない。学校から生まれた」と言います。期待していただけにがっかりです。

この話をすると、見えないものが存在するはずはなく、脳の働きが見せるのだという人もいます。しかしながら私には。事実がどちらかということよりも、その物語を人生の糧として楽しく暮らすことの方が大切なように思えます。(T.S.)

雑 感

例年より 2 週間近くも遅く梅雨入りした 6 月 4 日午後、宮崎県南部山沿いを震源とする地震がありました。最大震度は隣接する小林市の震度 4。私が住む綾町は、幸い震度 3 でしたが、突き上げるような重い衝撃に、一瞬身構えました。私にとって、身体に感じる地震は 2001 年芸予地震以来のことでした。

東日本大震災から一年三か月。東北地方太平洋沖地震の影響で、日本列島の地殻構造は大きく変化した、と指摘する学者も多く、新たな活断層も見つかるなど、今後起こると予想される地震の規模が、次々に引き上げられています。富士山の活動が活発化する可能性も指摘されていますし、桜島は昨年、年間最多の爆発的噴火を記録し、今年も噴火活動は衰えていないといえます。

そんな中、6 月 8 日夕方、野田首相は、福井県知事の要請を受け、「国民生活を守るため。福島を襲ったような地震・津波が起きても事故を防止できる対策と態勢は整っている。電力供給の 3 割を担ってきた原発を止めてしまえば、日本の社会は立ちゆかない。夏場限定の再稼働では国民の生活は守れない。全電源が喪失した場合でも、炉心損傷には至らない。」として、関西電力大飯原子力発電所 3 号機、4 号機を再稼働させたいとの、記者会見を行いました。

早くから、おおい町議会では容認派が多数を占めるなど、再稼働に向けての動きはありました。原発立地自治体に支払われる電源三法交付金や、原発関連の雇用などで成り立っている町が、再稼働に反対できない事情は容易に想像できます。

しかし、福島第一原発事故後、民主党は 脱原発依存の方針を決めていた筈でした。耳を疑いました。

矢継ぎ早におおい町、福井県の容認をとりつけ、6 月 16 日午前中、立地自治体の理解が得られたとして、政府は大飯原発の再稼働を正式に決定しました。21 日には、関西電力管内のこの夏の節電を緩和することまで決まりました。22 日には九州電力の、この夏の計画停電に関する行程表が発表されました。飴と鞭の使い分けは見事としか言いようがありません。まるで、脅迫です。

“非常時の拠点となる免震棟、フィルター付きベント設備は 4 年後完成予定。防波堤のかさ上げは 2 年後に完成予定。周辺道路の多重化は 8~10 年後の完成予定。直下の断層の再調査は予定なし。放射能汚染水への対策は未回答。”と多くの課題は残されたままです。

これだけの課題があっても尚且つ、野田首相が、責任を持って安全だと信ずるのであれば、迷惑料として支払われているともいえる電源三法交付金はこの際、撤廃すべきです。安全な企業を誘致することは、地元にとっては幸せなことである筈なのですから。交付金は不要です。

仮に、野田首相自身も、安全に不安を持ちながらも、経済界に配慮しての早すぎる決断であれば、「出来る限り安全に努めますが、立地自治体ならびに周辺自治体には、いつ何時福島のような厄災が降りかかってくるかもしれません。それは、明日かもしれないし、何百年後かもしれ

ません。それは、誰にもわかりません。低線量被曝についても、はっきりしたことは判っていません。除染の方法も、判りません。この電源三法交付金は、不幸にも、そうなった場合のお見舞い金です。これ以上のことは、国は何ともできません。」と、はっきりと言うべきです。

これ以上、私達を誤魔化さないで欲しいのです。

昨年末の福島第一原発事故の収束宣言同様、あまりにも拙速すぎるように思えてなりません。残りの停止中の原発を、次々に済崩的に再稼働させないで欲しい、と願わずにはいられません。

早くも、6月18日、愛媛県知事が四国電力伊方原発3号機の再稼働の必要性を表明しました。

20日、原子力安全・保安院は7月に稼働40年を迎える美浜原発2号機について10年間運転を延長しても安全という、関西電力の報告を妥当と判断しました。

奇しくも、5月5日のこどもの日に42年ぶりに原発ゼロになった日本。これからを担う子供の為にも原発に頼らない社会を、と祈るような想いです。

福島第一原発事故の調査報告書—政府、民間、国会、東電の4つが全て出揃いました。私には専門的なことは判りません。しかし、事故後、政府も、東電も、専門家も、慌てふためき、右往左往し、尋常な精神状態にはなかったこと、誰一人として、緊急時に、暴走する原発という怪物を正しく制御できる人はいなかった、ということがよく解りました。

政府と東電の調査報告は、お互いに責任を擦り合い、特に東電の自己弁護は目に余るものが有ります。

国会と東電の事故調査報告に共通することは、両者とも、如何に菅前首相のことが嫌いだったかということです。

民間（福島原発事故独立検証委員会）の調査報告書は、出版されたものを取り寄せて読みました。東電からの聞き取りに欠ける、との批判はあるものの、聞き取りに回答しなかったことが東電の体質を如実に物語っていると思いました。

想定しておかなければならなかったにも拘らず、総ての人にとって事故そのものが想定外だったのです。機器の扱い方についても、熟知している筈の当事者さえ知らなかった為、事故をより大きくしたという事実もありました。安全神話の上に胡坐をかいていたと言わざるを得ないでしょう。安全神話を削り上げてしまったが故に、危険を想定することすらできない雰囲気の中に浸っていたと指摘する人もいます。危険から目を背け、自分たちに都合の良い利便性だけを盲信した結果です。今なお、事故の重大さを過小評価しようとする姿勢が見え隠れします。

緊急時迅速放射能影響ネットワークシステム（SPEEDI）の情報も、米エネルギー省が米軍機で測定し、外務省に提供した詳細な「汚染地図」も、活かされることは有りませんでした。これらの情報が正しく活用されていたら、高濃度汚染地区方向に避難することは避けられた筈です。

残念ながら、時間を巻き戻すことはできません。今となっては、総てが虚しいことです。

しかし、たった今も、やらなければならないことは山積しています。

6月20日議員立法で原子力規制委員会設置法が可決・成立し、9月には原子力規制庁ができる見通しです。今まで、政府、経済産業省、文部科学省のもとに、それぞれ、原子力安全委員会、原子力安全・保安院が存在しましたが、今回十分に機能したとは言えず、却って縦割り行政の齟齬が目立ったことの反省の上に、原子力行政を一つにまとめ、総ての責任と権限を持たせるものだと思います。委員長を始め委員は5人、総勢1000人規模になるといいます。一つに纏まり迅速に機能する可能性には期待しますが、人選次第では、今まで以上に原発推進に舵が切られそうな不安も残ります。規制委員会の設置の「目的」に“我が国の安全保障に資する”と明記されていたため、プルトニウムを取り出す再処理政策を続ける日本においては、“核武装につながる”との懸念があるともされています。

規制庁の人選には慎重の上にも慎重を期して欲しいものと切望します。

今回の事故で、広範囲にわたり、土壌が、大気が、河川が、海が汚染されました。その汚染は国内に留まらず広く海外にまで及んでいます。

アラスカやアメリカ西海岸に漂着した懐かしい思い出の品が持ち主のもとに戻ったという美談の一方、浮桟橋を始め、夥しい瓦礫が諸外国に迷惑をかけています。国際法上の責任は無い、とのことですが、人間としてせめて処理費用位は負担する国であって欲しいと思います。

福島第一原発4号機の核燃料貯蔵プールには、今なお使用済み燃料783体を含む1535体もの核燃料がむき出し状態で残されています。

今の所、水位は保たれていますが、5月のつくば市での竜巻、6月上陸は8年振りと言われる台風4号や、追いかけるように来襲、熱帯低気圧に変わった5号は各地に大きな被害を残しました。年々荒々しくなる天候に、薄氷を踏むような想いです。

使用済み核燃料は、非常に危険なウラン、プルトニウムを含む、高レベル放射性廃棄物です。この危険な廃棄物の最終処分は非常に困難で、何万年という時を経て、無害なものにするしか方法がありません。ガラス固化、地層処分、様々に検討はされていますが、未だに決め手はありません。そもそも何万年も安定した地層など日本には無い、とする指摘もあります。これほどに厄介な廃棄物を、日本は信じられないほど膨大な量を貯め込んでしまっています。アメリカ、フランスに次いで第3位の量です。手狭になり始めた原発敷地も出始めています。まさに、トイレ無きマンションの糞詰り状態の始まりです。

原子力規制庁に拘わる人には、常に核の最終処分を如何にすべきかを考えて欲しいと思います。

地球上の全ての命を守り抜く熱意と覚悟と信念の許、哲学を示してほしいと思います。

「45億年前、命を育む稀有な星、地球が誕生しました。38億年前に初めての命であるバクテリアが誕生し、6500万年前、人類の祖先が誕生しました。現在に至るまで多くの種が絶滅しましたが、時代当たりの絶滅種の数に殆ど増加していません。しかし、産業革命後たった200年間の間に絶滅した種数は激増しています。これは、人間のエネルギー浪費に因るものにほかなりません。このまま浪費を続けると、人間が絶滅する日も遠くないでしょう。自分で自分を

絶滅に追い込む。人間ほど愚かな生きものは有りません。」17日に参加した小出裕章氏の講演会で、印象に残った言葉です。ただ、会場の空調が、寒い位に効いていたのは残念でした。

今、私が一番悔しく、怒っているのは、この狭い日本に54基もの原発が造られている過程において、私自身、そのことに、あまりにも無関心だったことです。私の周りには、原発建設に反対していた人が少なからず居たにも拘わらず、です。放射能の怖さは、広島出身の私はそれなりに感じていました。なのに、国や、学者が大丈夫と言っているのだから、何らかの専門的な対応が為されているに違いないと、思い込んでしまっていました。

そして、愚かにも、電力会社の補助金や格安夜間料金と、クリーンエネルギーであるとの宣伝文言に、うかうかとオール電化住宅を選択してしまったのです。“お風呂のお湯まで電気で沸かすのは、何だかもったいない。”と、最初は思っていました。でも、使ってみると、今までの光熱費の合計より安上がりだったこともあり、次第に慣れていったというのが事実です。余った夜間の電気を、何とか売りたい電力会社の策に、まんまと乗せられてしまったのです。最初の素直な感覚を大切にすべきでした。

節電が求められる昨今ですが元々エアコンは殆ど使っていません。昨年からは掃除機をやめ、炊飯器、ポット、お風呂の保温をやめ、なるべくテレビを消し、ラジオを聴くようになりました。効果は微々たるものです。

節電しながらも電気が使える間は我が家の生活は成立しますが、停電、ということになると井戸水を汲み上げるポンプも止まってしまう、完全に麻痺してしまいます。エネルギー源は複数に分けておくべきでした。

本当に馬鹿なことをしてしまったものです。

< はっぱにあたって ひとん
まどにあたって ばちん
かさにあたって ばらん
.....
すみれのはなに しとん
くるまのやねに とてん >

朝日新聞の天声人語に引用された、岸田裕子さんの「いろんな おとの あめ」という詩です。

綾はこの所、ずっと雨が降り続いています。雨の音を楽しんで聞き分けられるような穏やかな気持ちを持ちたいものです。

6月に入って夜毎コオロギの合唱を背景に、ホタルの光の舞を楽しんでいましたが、今はホタルに変わって裏の水路で アオハダトンボが生まれはじめました。夫が庭に、一年半をかけて作った池はオタマジャクシで底が見えない位でしたが、次々にアマガエルになり、残るオタマジャクシはあと僅かです。水辺は命の源、を実感しています。 (K.O.)

お知らせ

・7月例会のお知らせ

7月は遠出します。7月3日火曜日午前9時出発 日時だけ決めました。

詳細は6月25日この会報の印刷日に案を持ち寄って決めることになっています。よって、この会報の紙面上のお知らせはできません。どこかに行く予定です。決まり次第、メール等でお知らせします。合計8名までは参加受け入れ可能です。

9月にはワンボックスカー(定員8名)を手放しますので、それまでできるだけ会の活動にも利用したいと思っています。ご意見、ご要望をお寄せください。

くらしの学習会では、随時会員を募集しています。

活動会員 2000 円/年 購読会員 1000 円/年

振込先口座番号(郵便局) くらしの学習会 01610—5—21026

問い合わせ先 TEL/FAX 089—964—6956(林)

E-mail: kt-hayashi@nifty.com

編集後記

我が家は4月から年金生活が始まりましたが、先日やっと初めての年金振り込みがありました。予定していた額の半分以下です。過去1年のボーナスを月に換算して出した額が、年金支給予定月額から差し引かれるとは知りませんでした。完全に勉強不足です。我が家の場合は、借金もなく、子どもも社会人になって経済的には独立しているので、何とか貯金を下ろしながらも生活ができますが、定年後も借金があったり、扶養家族がいたりしたら大変だろうなと思います。

働けるうちは、私もできるだけ働きたいと思っています。本当に働けなくなった時、何とか暮らせる保証があれば、それで十分です。

78号井戸端だよりは、高齢化しつつある会員の現在および今後の不安を反映したものになりました。心の豊かさだけは失いたくないものです。(T・H)

